

校長室の窓

平成28年7月15日
第9号

梅雨明けは、年を追うごとに遅くなる傾向だとか。じつとりと蒸し暑い日が続いています。

さて、1学期は、始業式から終業式まで70日の登校日があります。今日で68日目(1年生は69日目)、まもなく1学期が終わろうとしています。

新しい学年、新しい学級、新しい先生、そして新しい友達に出会い、笑ったり、ときには泣いたりしながら、のびのびと成長してきた正則の子たち。学習に行事に、充実した学校生活を送ることができました。保護者の皆様、地域の皆様、1学期の学校教育へのご理解、ご協力ありがとうございました。ここで一度、それぞれの家庭に正則の子をお返しします。さあ、夏休みがやってきます。

初めての夏休みを迎える1年生も、小学校最後の夏休みとなる6年生も、きっと今からわくわくしていることでしょう。42日の間に、どんな楽しいことがあるのかな。何をして遊ぼうかな。朝はちょっぴり寝坊できるかな。テレビもいっぱい見よう。宿題はいやだけど、ちゃんとやらなきゃ。子どもにとって夏休みは、学校のいろいろな束縛から解放された夢の時間なのです。

かつて子どもだった大人みんなに、小学校の夏休みはありました。大人になった今なら、その夢には限りがあることを知っています。2学期は必ずやってきて、また毎日学校へ行かなければならない。生活のリズムを大切にしなければなりません。計画的に宿題を終わらせなければなりません…。そう、宿題については、学級懇談で「親の宿題になるのだから減らしてほしい」というご意見があったそうです。お気持ちはわかります。

でも、宿題を通して我が子とふれあうかけがえのない時間を、大切にしてほしいと思います。いっしょにできるのは小学校までです。どうぞ、42日間をお子様とお楽しみください。



夏休みがやってくる!



一つだけ学校からお願いがあります。交通事故や水の事故、物騒な犯罪にあわぬよう、くれぐれもご家庭や地域のみなさんで、正則の子をお守りください。2学期始業式に、ひと回り大きくなって、元気よく登校してくれることを楽しみにしています。

運動場の水たまりに映る空の向こうには、夏の太陽が待っています。